

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	27	秩序の中にもぎわいのある都市空間をつくる	評価責任者 (基本施策主管課長)	中心市街地活性化推進室 長
-------	----	----------------------	---------------------	------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 政 策	快適 自然と調和し、秩序のあるまちづくり
① 市民意識調査結果		②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果 市民意識調査によると、本基本施策の必要度・満足度ともに平均より低いということが分かる。 また、平成18年11月に実施した伊賀市中心市街地活性化・まちづくりアンケート調査から、『充実すべき公共施設』では、公衆トイレや休憩スペース、上野市駅前の整備への関心の高いことがうかがえ、『中心市街地の将来イメージ』においては、歴史や文化資源を活かした文化的な落ち着いたまちをイメージしている市民が多いことが判明している。
③ 基本施策の現状と課題	①中心市街地の活性化推進にあたっては、伊賀鉄道上野市駅以北に滞留する観光客を町中に呼び込む施策、市内周辺部から集客できる施策の充実が必要である。 ②伊賀市の南の玄関口である伊賀神戸駅周辺地区において、通勤・通学時間帯には歩行者・通車車両・送迎車両等が集中し、非常に危険な状況下にある。 ③市町村合併に伴い、現在の市域には4つの都市計画区域と都市計画区域外の地域が混在しており、一体的な都市づくりを推進していくためには、都市マスタープランの方針に基づき、都市計画区域の再編を行い、区域区分の方針を定めなければならない。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	①上野市駅前地区第1種市街地再開発事業によって創設する再開発ビル内部の公共公益施設をはじめとする施設の充実を図る。 ②震災から逃れた古い町並み・街割りを活かし、城下町の風情を醸し出すまちの整備を推進する。 ③伊賀神戸駅へのアクセス道路の拡幅及び駅前バス回転場の整備を行う。 ④伊賀市都市マスタープランの方針による一体的なまちづくりを行うことを目的とし、都市計画区域の再編を行うと共に区域区分制度の統一を行う。	

⑤基本施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる基本施策指標候補	重点化
上野市駅前地区第1種市街地再開発事業	事業の進捗	1
古い町並み・街割り	事業の進捗	3
伊賀神戸駅周辺地区整備事業	事業の進捗	4
都市計画区域再編と区域区分	事業の進捗	2

基本施策指標名	単 位	過年度実績			評価年度	目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H20	H21	H22		H25	H30			
1 まちなか回遊率	目 標	%	3000	3200	3400	4270			中心市街地の定点通過者数	
	実 績	%	3139	2585						
	達成率	%	104.6	80.8						
2 都市計画区域及び区域区分方針策定の進捗率	目 標	%		50	50	100			作業進捗ベース	
	実 績	%		20						
	達成率	%	#DIV/0!	40.0						
3 伊賀神戸駅周辺地区整備の進捗率	目 標	%			8	100			事業費ベース	
	実 績	%								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!						
4	目 標	%								
	実 績	%								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!						

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事 業 名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			重点化	
				H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額		
1		人権生活環境課 人権政策・男女共同参画課 男女共同参画センター上野市駅前再開発ビル関連公共事業	無	0	720	105,296		
2		健康福祉部 こども家庭課 (仮称)子育て包括支援センター整備事業	無	0	0	32,644		
3		健康福祉部 健康推進課 保健センター上野駅前再開発ビル関連公共事業	無	0	0	429,096		
4	2219	伊賀神戸駅周辺整備事業	無	0	15,390	61,410		
5	546	都市計画調査策定等事業	無	20,956	23,400	23,400		
6	549	市街地整備推進事業	無	2,342	2,648	2,648		
7	705	中心市街地活性化推進室 市街地整備推進事業(町家活用推進事業)	有	4,200	4,200	2,000	△	
8	706	中心市街地活性化推進室 街なみ環境整備事業(整備事業)	有	99,126	238,180	338,462		
9	550	産業建設部 都市計画課 街なみ環境整備事業(都市景観)	有	9,212	14,354	19,372		
10	710	中心市街地活性化推進室 上野市駅前地区市街地再開発事業	有	202,172	980,448	2,801,511	○	
(以下 続紙)								
事業費 小計					338,008	1,279,340	3,815,839	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等
上野市駅前周辺地区整備事業	民間・組合・市	中心市街地活性化基本計画に掲げる48事業のうち、『丸之内ルネッサンス事業』と『上野市駅前地区都市機能再生事業』の2事業については、『上野市駅前地区第一種市街地再開発事業』との関連で、同時進行で実施することにより、賑わい創出の相乗効果が期待できる。

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	中心市街地活性化基本計画に位置づけられている『上野市駅前地区第一種市街地再開発事業』、『城下町の風情を色濃く残すまちの保全整備』については、計画期間が設定されていることから、スケジュールどおり事業を推進していくことが重要である。 また、都市計画区域の再編及び区域区分の方針については、市民合意の形成を、また、伊賀神戸駅周辺地区整備については、特に地元住民の合意形成が重要である。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	『上野市駅前地区第一種市街地再開発事業』、『城下町の風情を色濃く残すまちの保全整備』については、伊賀市中心市街地活性化協議会と連携して、進めていく必要がある。 都市計画区域の再編と区域区分の方針については、当市の土地利用にかかる根本の考え方であり、将来を見据えた手法を策定するうえで、より多くの市民の意見を聞くことが重要であり、現状の手法で進めていく必要がある。 伊賀神戸駅周辺地区整備については、県道バイパスへの接続の関係もあり、県と十分協議しながら進める必要がある。
3 役割分担の妥当性	各事業において、関係機関・各種団体と連携を図りながら、行政が主体的に推進する必要がある。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	中心市街地活性化基本計画に位置づけられた事業については、平成25年3月までに事業推進しなければならない。 また、都市計画区域の再編と区域区分の方針については、当市の土地利用にかかる根本の考え方であり、将来を見据えた計画を策定しなければならない。